

(西暦) 2023 年 7 月 7 日

結腸憩室炎の治療のため当院に入院・通院されていた患者さんの 診療情報を用いた臨床研究についてのお知らせ

はじめに

結腸憩室炎に対する外科的治療は年々増加している。炎症の程度や範囲によっては拡大手術となることもあり、癌ではない良性疾患とはいえ難易度の高い手術である。ショックなどすでに状態が悪化している場合は汚染物質の除去や人工肛門造設などの最低限の手術後の二期的手術戦略も妥当と考えられ、その場合は低侵襲アプローチなどの選択肢も広がる。本研究では、結腸憩室炎に対する低侵襲アプローチによる治療戦略と成績を検討する。

対象

西暦 2016 年 4 月 1 日より 2023 年 3 月 31 日までの間に、外科にて結腸憩室炎の治療のため入院し、腹腔鏡下での手術を受けた方

【試料・診療情報等の項目】

診療情報等：病歴、診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、手術記録、退院日

【試料/情報の他の研究機関への提供および提供方法】

本研究で使用される診療情報等は他機関への提供は行いません。(浜の町病院のみで使用の場合)

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、外科 田中 佑一までご連絡をお願いします。

研究課題名

結腸憩室炎に対する腹腔鏡下結腸切除手術の検討

研究内容

2016 年以降に大腸憩室炎に対して行なった腹腔鏡下手術は 17 件であった。病態毎に分類し、手術時間や出血量、術後の合併症、術後在院日数などで治療成績を比較し、ビデオで手術手技を交えてそれぞれの病態に応じた侵襲の少ない手術方法を検討する。

個人情報の管理について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報は、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

研究期間

病院長承認日 ～ 2024年 6月 31日（予定）

医学上の貢献

本研究により被験者となった患者さんが直接受け取ることができる利益はありません。しかし、本研究により結腸憩室炎に対する低侵襲手術の治療戦略が明らかになる事により、新たな知見が得られることで科学への貢献が為され、社会への貢献が達成されると考えられます。

研究実施機関

国家公務員共済組合連合会 浜の町病院 外科

（他に共同研究機関があれば記載のこと）

【当院での研究責任者】 所属 外科 職名 医師 氏名 田中 佑一

【利用する者の範囲】

所属	<u> 外科 </u>	職名	<u> 医師 </u>	氏名	<u> 植木 隆 </u>
所属	<u> 外科 </u>	職名	<u> 医師 </u>	氏名	<u> 小佐井 孝彰 </u>
所属	<u> 外科 </u>	職名	<u> 医師 </u>	氏名	<u> 佐伯 潔 </u>
所属	<u> 外科 </u>	職名	<u> 医師 </u>	氏名	<u> 後藤 佳登 </u>
所属	<u> 外科 </u>	職名	<u> 医師 </u>	氏名	<u> 河野 博 </u>
所属	<u> 外科 </u>	職名	<u> 医師 </u>	氏名	<u> 梁井 公輔 </u>
所属	<u> 外科 </u>	職名	<u> 医師 </u>	氏名	<u> 山元 啓文 </u>
所属	<u> 外科 </u>	職名	<u> 医師 </u>	氏名	<u> 一宮 仁 </u>

お問い合わせ先

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

浜の町病院 外科 医師 田中 佑一

連絡先：092-721-0831（代表）

以上